



墨田

# 区議会だより

第 26 号

発行 昭和56年 4月20日  
発行所 墨田区議会事務局  
〒130 墨田区横網一の6-1  
電話 626-3151(大代表)



水もぬるみ春のうららかなある日、隅田公園の中にある釣り堀で小さな太公望たちが、釣り糸をたれていました。  
去る三月九日に招集された昭和五十六年第一回定例会では、新年度予算の審査が中心になりましたが、その中に、二年後の完成を目差し、大横川(業平橋〜平川橋)に清流を戻し、釣りのできる川にするための予算が計上されています。魚のすむきれいな大横川で、釣り糸をたれている子どもたちを見るのもそう遠くはありません。

昭和56年

第1回定例会

## 江戸・東京博物館を両国に

誘致促進決議を全会一致で可決

定例会第一日、三月九日の本会議では、今後一年間の区政運営方針が、区長欠席のため、助役の代読によって表明されました。その中で、五十六年度は墨田区基本構想に基づく区政の初年度であり、長期的、総合的計画のもとに、二十一世紀へ踏み出す年なので、今後は基本構想を軸として、自治と連帯、区民と区の共働きで推進していくという方針を明らかにするとともに、新年度予算編成の基本的な考え方などについて述べました。これに対し、十一日には自民党、公明党、共産党、そして区民クラブの四会派から、十二日には、新自由クラブ、民社党の二会派からそれぞれ一名ずつ、合わせて六名の議員から一般質問がありました。そこでは、都区財調制度の将来的な展望、国際障害者年に対する区の対応、防災対策、総合庁舎問題、錦糸町駅周辺の整備・開発、基本構想を具体化するにあたっての考え方など様々な質問を行い、それぞれについて、助役、教育長から答弁がありました。

また、十二日の本会議では、一般質問に続いて、職員給与に関する条例の一部を改正する条例など四件を即決し、墨田区職員定数条例の一部を改正する条例ほか十七件をそれぞれの常任委員会に審査を付託し、昭和五十六年度墨田区一般会計予算は委員二十名で構成する予算特別委員会に審査を付託しました(二面参照)そして、みなさんから区議会に提出のあった請願十一件(四面参照)も、それぞれ所管の委員会へ審査を付託しました。また、議員選出の監査

### 議決した意見書・決議(要旨)

◎同和对策事業特別措置法の再延長に関する意見書  
同和对策事業特別措置法は、昭和五十三年十月第八十五臨時国会において、三項目の附帯決議をつけて三年の延長が議決され施行されました。

そして法が制定されてから十二年間、一定の成果をあげてきましたが、しかしなお問題の完全解決にはいたっておらず残すところ五十六年度一年のみとなった同法の有効期限内に、その目的を達成することは不可能な状況にあります。よって墨田区議会は、同和问题の根本的な解決をはかるため、政府が、これら現状と課題をふまえて同法を再延長すると共に、前記附帯決議の早期実現を図るため、適切な措置を講じられるよう強く要望します。

### ◎「江戸・東京博物館」の誘致促進に関する決議

東京都は「江戸・東京博物館」の建設を打ち出しています。当墨田区は、隅田川をかかえ、歴史的、伝統的、文化的にみても江戸・東京の発展と深いかわりを持ち、震災、戦災の悲惨な体験をも重ねている地域であります。よって、墨田区議会は、東京都が検討している「江戸・東京博物館」を、当区の両国地区に建設することが最適であると思料し、これが実現するよう強く要望するものであります。

委員二名が辞職したことに伴う後任委員の選任同意議案を議題とし、全会一致で同意しました。十三日からは、本会議が休会に入りましたが、この休会中に、予算特別委員会をはじめとして、各常任委員会や特別委員会を開き、それぞれの所管事項について審議を行いました。そして、今定例会最終日、三十一日の本会議では、新しく就任した監査委員からあいさつがあり、五十六年度の一般会計と国保特別会計の両予算に、共産

### 第1回定例会

#### 会議開会状況

3月 9日	本会議	議会開会
11日	本会議	議員定数条例の一部を改正する条例を即決
12日	本会議	職員定数条例の一部を改正する条例を即決
16日	本会議	一般会計予算を即決
17日	本会議	特別委員会に審査を付託
18日	本会議	特別委員会に審査を付託
19日	本会議	特別委員会に審査を付託
23日	本会議	特別委員会に審査を付託
24日	本会議	特別委員会に審査を付託
26日	本会議	特別委員会に審査を付託
27日	本会議	特別委員会に審査を付託
31日	本会議	特別委員会に審査を付託



一般質問

自治と連帯により地域づくりを

助役答弁

今定例会では、六つの会派六人の議員から、二日間にわたり、新年度予算関係、都区財政調整、今後の区政運営、国際障害者年と区政、錦糸町駅周辺の再開発、など様々な問題について一般質問を行い、これに対して助役、教育長からそれぞれ答弁があり、自治と連帯により地域づくりをしていくことを区政運営の基本的姿勢とする、などと答えました。

効率的な行政運営を

自由民主党

問 政府は、「小さな政府」づくりを目ざして、第二次臨時行政調査会を発足させた。墨田区においても、限られた財源の中で、昨年策定した「墨田区基本構想」と、それに基づく「基本計画」を実現するために、今後生活関連施設、コミュニティ施設を整備しなければならないが、そのためには、効率的な予算執行、計画的な行政運営が必要になる。基本的な考え方をうかがいたい。



答 検討に当たっては、直営が可能な委託すべきか、運行路線、乗客需要と運行間隔など、いろいろ検討し、経費や採算性をみながら検討可能かどうかを検討したい。区としては未経験の分野だが、専門家や関係機関の協力も得て検討してみたい。

区内循環バスの検討は

問 新年度予算には、区内循環

バスを検討する。また、国、都をはじめ、その他の関係機関に対しても積極的に働きかけ、公共投資の誘導をはかっていきたい。

答 墨田区に復帰する大相撲国技館の施設は、大相撲の東京場所と相撲関係の行事だけでは、一年間の大部分がその施設を遊ばせることになりかねない。せっかくの大規模施設であり、地元商店街振興の意味からも、年間を通して施設利用が望まれ

五十六年度予算の審査から

予算特別委員会

五十六年度予算審査のため、三月十二日と十六日から十九日の五日間、予算特別委員会を開きました。

新年度は、墨田区基本構想を実現するための最初の年度であり、区政が長期的、総合的計画のもとに二十一世紀へ踏み出す年である。その年度の予算というところから委員会では、いつにも増して熱心な審査を行いました。委員会の一日目は、正副委員長を選び、二日目は、総務費と区民環境費を中心に審査をしました。

◎委員長 ○副委員長  
◎桑名梅佐久 ○矢口甲子夫  
西原 文隆 加藤 耕造  
足達 寿一 中村 光雄  
牛山れい子 西 恭三郎  
青木 良平 原田 裕  
村瀬 政幸 蘭田 隆明  
石橋 正夫 田中 左内  
瀧澤 良仁 柴田 昌男  
槐 勲 樋口 丈吉  
柴田 米治 吉田武三郎

三日目は、今年度は国際障害者年ですが、区の予算の中でも大きな割合を占めている民生費、そして、衛生費を審査しました。四日目は、産業経済費や土木費、また、最近関心を集めている校内暴力などの教育問題を含めた教育費等を審査しました。そして、五日目の委員会では

国際障害者年の行動計画は

公明党

問 今年度は、国際障害者年だが当区は、昨年十月区長を本部長とする国際障害者年推進本部を設置して、今後十年間の行動計画策定に取りかかり、今年度その作業を終ると聞いている。この計画は、国が推進する関係各省の計画や、都との関連はどのようになっていくのか。

答 相撲協会の発表では、収容人員一万三千人を予定しており、相撲以外のスポーツ等にも利用できるような建て方を工夫したいと考えています。

また、青少年の教育の場や体育増進に役立つような施設も併設したい考えのようです。今後、区の意向も十分に伝えていきたい。

さらに、障害者福祉事業団を設立する計画があるようですが、ぜひ実現してほしい、見直しはどうか。

答 区の行動計画と国、都の行動計画との関係は、国連が提唱する「完全参加と平等」の実現は同じだが、国は全国レベルの基本的事項、都は広域的事業、区はきめ細かな施策を行うことになると思う。



伝統工芸の保存対策は

問 わが国の伝統的手工芸品は

最近またその良さが認められてきており、区内にも十数種の職人が集まって、伝統工芸保存会が発足し、技術の紹介、保存後継者づくりのため、伝統工芸展を開いている。また、隅田川沿岸の史跡や、墨堤の桜、夢のかけ橋も東京の名所となるのでそのあたりに、墨田のあらゆる古い文化と伝統工芸を共に保存努力していきたい。

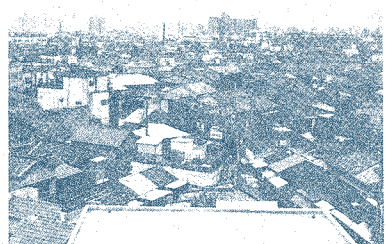
不燃化助成事業の拡充を

日本共産党

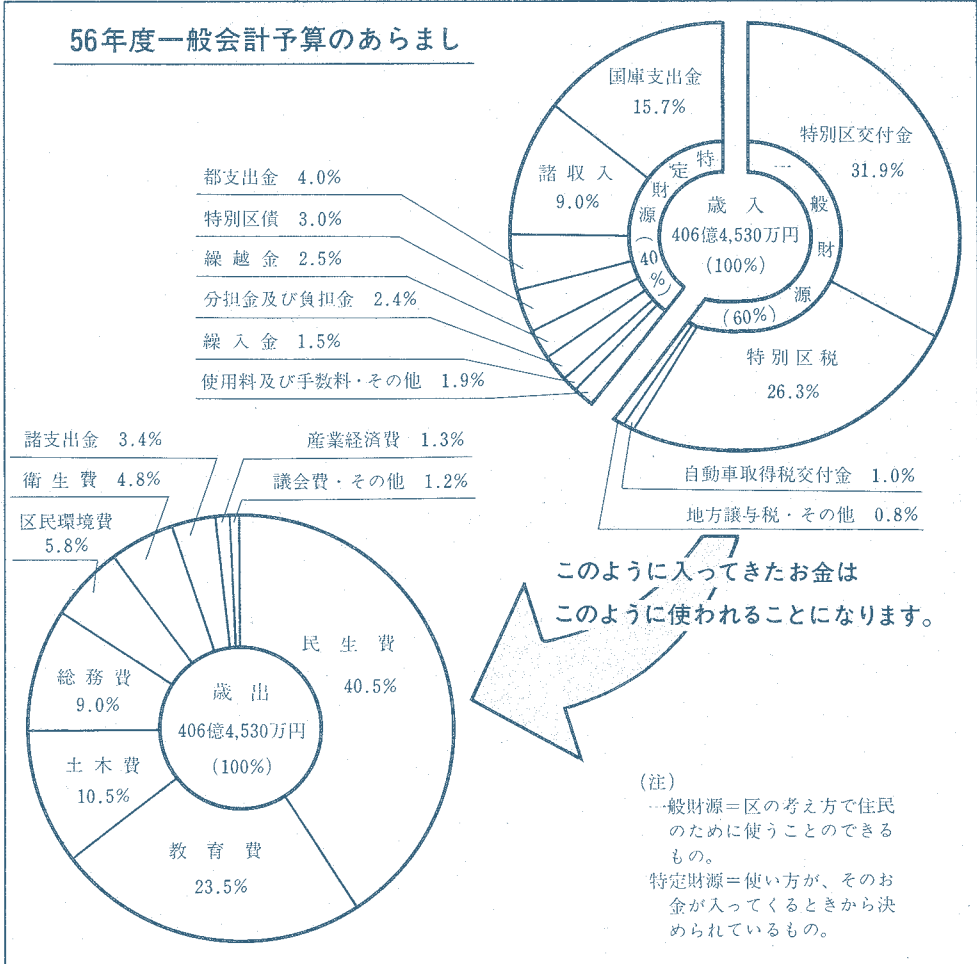
問 防災対策は、区民の生命の安全にとつてきわめて重大な問題である。

答 制度発足の当初でもあり、期待どおり進まないが、促進のため努力している。路線不燃化

問 区の発展にとつて、中小企業の振興こそ最も重要な柱だが新しい技術や製品の開発に



56年度一般会計予算のあらまし





ついでに援助体制を確立するため、現在検討されている「中小企業指導センター」を一刻も早く建設する必要があるのではないか。また、「中小企業振興公社」を区が設立して、小売業者に必要な機械を貸出するほか、協業化促進事業や用地確保など、区内産業振興に必要なる事業を行なう考えはないか。

答 「中小企業指導センター」は、産業振興会議の第二分科会

### 総合庁舎の建設はどうするか

#### 区民クラブ(社会党)

基本構想、基本計画の中で、押上、業平地域を中心に、行政の町にするとなつていたように記憶するが、施政方針の中では、総合庁舎のことに触れていない。事務の簡素化、事務事業の見直し、組織を上げた内部努力ということだが、第一庁舎第二庁舎に分かれておくことでは、

で検討中で、実現を望む声が多いので、至急実現するよう検討を進める。用地問題もあるが、できれば北部地区の中央付近が望ましいので努力したい。

「中小企業振興公社」の構想は検討に値すると思うが、機械を準備して直接貸すこと、がいいのか、低利の融資が行われればその方がいいのか、問題はいろいろある。利点、欠点を十分に検討しないと踏切れない問題だ



許申請のめどが立ってきたので、今後、促進をはかりたい。オフコンの導入の理由は、

問 新年度予算の中で、財務会計の合理化をはかるため、オフコン・コンピュータを導入するということが、現在ある電子計算機が活用できないのになぜ、新しいものを導入しなければならないのか。この導入によって、臨時の職員を採用しなくて済むとか、事務的に合理化できるということであれば、具体的な内容を聞きたい。

### わかりやすい財政の公表を

#### 新自由クラブ

現在、メインの電子計算機もあるが、これの負荷の軽減と導入するコンピュータが漢字を使用できるもので、現在のものに適用できないためである。

また、この機械化によって、

収入役室において年々増加している事務量に対処すると共に、事務改善をすめ、能率的にしかもまちがいなく事務処理することをめざしている。

また、この機械化によって、

### 国際障害者年推進の考え方は

#### 民社党

重視されなければならない。どう対処しているか。

答 区においても、最近の風潮を考慮し、各小学校、中学校とも、教職員が一体となって、その指導徹底を図っている。

現在の青少年非行は全国的な風潮で、本区だけに特例があるわけではないので、今後とも、指導体制の強化を図って、家庭地域の連携を密にし、また、関係機関とも密接に連携を保ちながら、万全を期していきたい。



問 錦糸町北口の開発は、都のマイタウン構想の中で、上野、浅草地区と共に、副都心として育成することがうたわれているが、錦糸町北口開発は進んでいるか、どう考えているか。

答 新宿や池袋に見られるように、副都心として発展するためには、三十年以上の年月を要している。その間、国、都の開発のほか、大規模な民間資本の投資が行われている。今後も北口開発の促進を図っていくたい。



#### 自由民主党

//賛成//

#### 公明党

//賛成//

#### 日本共産党

//反対//

現在の区行政を取りまく社会経済情勢が極めて厳しい時、国技館の両国復帰、錦糸堀都電車庫跡地開発、夢のかけ橋着工など、昨年来の大きな躍進を遂げ、特に十一月策定した「墨田区基本構想」を実現するための諸事業に配慮した四百六億円余の大型予算で、わが党が、かねて要望してきた区内循環バスの検討をはじめとして、不燃化助成の拡充、国際障害者年行動計画の策定、障害者福祉基金の創設、商工業後継者実態調査の実施など諸施策を盛り込んだ、きめ細かな「基本構想元年」にふさわしいものと評価します。

今後は、区職員一人一人が行政を徹底し見直し、効率的な執行で行政効果を高めるべきである。

本年は、今後二十年にわたる展望「墨田区基本構想」に基づく初年度としての予算編成である。わが党は今予算に対し二百二十項目に及ぶ要望をいたしました。その中で新事業として予算化された学童災害共済制度をはじめ、ミニコミュニティ施設の建設、不燃化促進助成の拡大、障害者年行動計画の策定、障害者基金の設置等、その積極的施策は評価できる。しかし、今後の行政の第一の課題は肥大する行政の役割分担を明確にし、行政の役割分担を明確にし、行政効果をどのように高めるか、そのために全事務事業の見直しを徹底して行い、区民の参加を基とした福祉、教育、行政の体制の確立を図るべきである。

昭和56年度区予算は、鈴木知事の都民泣かせの悪政に前年度よりさらに手を貸すものとなつています。不況の深刻な影響を受けている区内中小工商業の振興のため活用すべき錦糸堀都電車庫跡地を、都の「マイタウン」計画にそって丸井デパートに九割も提供するという大資本奉仕の開発をすすめています。共産党の追及に対しても、区の財政事情が苦しいから止むを得ないとい答える一方で、都の「財政再建」協力のため二年度で26億7千万円も区が都の肩替りをしていきます。そして、国保料や区民会館、体育施設の使料を四月から大幅値上げするなど、区民負担を一層重くするものとなつていきます。

## 新年度予算をわが党はこう見る

#### 区民クラブ(社会党)

//賛成//

#### 新自由クラブ

//賛成//

#### 民社党

//賛成//

内外の厳しい社会経済情勢にあつて、総予算四〇六億四千五百三十万円は、昨年決定した基本構想「防災、環境、福祉、産業、文化」の中期計画初年度であり、執行に当たっては特に住民自治を強く要望したい。また、都から区に移管される事務事業と一般財源の確保から財政再建に伴う減収経営には充分注意しなくてはならないと同時に、区行政の仕事量が拡大していくなかでいかに効果的運営を行うかがある。両国の大相撲、錦糸町再開発、区内中心地の行政街再開発、鐘の淵の周辺整備調査、福祉、教育等、住民参加による清潔で民主的区政の確立をさらに求めます。庶民の立場で身近な区政を主張していきます。

基本構想が制定をされ、基本計画のもとに、二十一世紀を目標として新しい年明けを迎えた墨田区が、中期実施計画を実現させつづける多くの課題にたいして、これからの街づくりを進めるためには、事業者の見直しや職員の増加を抑制して適正な人員配置のもとで住民サービスの向上を図る等、行財政改革を進めるほか、各種研修を通じて職員の創造性を高め、問題意識や資質の向上を図り、区民の期待と信頼に応えられる職員によって、区民と共に二十一世紀の街づくりを進めていく必要があると思ふ。また、今後の都区間の事務事業の役割分担や、財政権の確立の問題等充分な検討と対応を図る必要がある。

経済社会の状況がきわめて厳しくなっている時に、総額四百六億を超えるきめ細かな予算を編成されたことに敬意を表したい。今年区基本構想元年であり、また、国際障害者年であるが、また、国際障害者年が障害者と健全者が助け合い社会へ平等に参加できるように、障害者対策の充実がますます重要なになっている。区は福祉施策の充実をはかっているが、さらに努力してほしい。錦糸堀都電車庫跡地への産業会館を含むビル建設で、錦糸町再開発が一段落した。さらに不況下の産業振興特に中小零細企業への融資、教育問題に対する施策も積極的に進めてほしい。区政の将来展望、研究課題として総合庁舎の早期建設を望みたい。



# 地下鉄十二号線 早期着工促進などの請願採択

## 請願の審査結果

今定例会では、区民のみならず出された十一件の請願について各委員会審査しました。そのうち八件について結論を出し、三月三十一日の本会議で決定しました。

### 採択としたもの

◇ 荒川河川敷に事故防止用警報設備の設置を求める請願

(意見) 河川敷内に実現することは困難と認めるが、チャイムの設置については、十分調査、研究されたい。

◇ 都営地下鉄十二号線の早期着工促進と国鉄西国駅への接続に関する請願

(意見) 趣旨にそつよう努力されたい。

◇ 日大講堂用地へ江戸・東京博物館の誘致に関する請願

(意見) 趣旨にそつよう努力されたい。

◇ 都交通局変電所跡地の一時開放に関する請願

(意見) 趣旨にそつよう努力されたい。

◎ 一部採択としたもの

◇ 私立幼稚園児保護者負担軽減に関する請願

一、意見を付して採択とした分  
〇四・五歳児の保護者に対する補助金増額

(意見) 直ちに大幅に増額をすることは困難と認めるが、今後とも公私の格差是正に努力されたい。

◎ 一部採択、一部不採択としたもの

◇ 小零細建設業者・労働者の仕事確保等の緊急対策に関する請願

一、意見を付して採択とした分  
〇官公需の発注実態を明らかにし、仕事確保の対策を考慮  
〇公共施設の補修・改善工事の直接受注  
〇小・中学校等の施設補修工事の直接発注

(意見) 現行契約制度の枠中

◇ 都清掃事業の特別区移管反対に関する請願

(理由) 趣旨にそつようことは困難である。しかしながら、今後、都区間の協議にあたっては十分に条件整備を図られた

◇ 「新一般消費税」新設に反対する請願

(理由) 現段階において反対の意思表示等の必要性は認め難い。

## 特別区自治権・財政権 拡充大会ポスター原画募集

〔開催日時〕昭和56年10月23日午後1時 九段会館

〔大会の内容〕  
△名称▽特別区自治権・財政権拡充大会  
△主催▽23特別区議会

〔原画の大きさ・色等〕  
A2版(42×59・4cm)縦長3色(白は含まれません)ただし、下部に掲責任者欄として5×19cmの余白をとって下さい。

〔募集期限〕  
昭和56年6月30日まで(郵送は当日消印有効)

〔賞状と副賞〕  
賞状と次の副賞を贈ります。  
▽最優秀作品 5万円(1点)  
▽優秀作品 1万円(5点以内)

〔持参または郵送先〕  
〒102東京都千代田区九段北一丁目4 東京区政会館別館4階 特別区議会議長会事務局 ☎265-0671 内線292・295

〔特別委員会の委員 一部交替〕  
現在活動中の五つの特別委員会のうち四つの特別委員会で委員の一部が辞任をしました。これに伴って後任の委員が選

任されました。

町のあちこちにはあってあるこのステッカーをもうご覧になりましたか。

区内を南北に結ぶ地下鉄の建設は長い間区民のみならずが待ち望んでいるところで、区議会では、地下鉄八号線建設促進運動の一つとして写真のようなステッカーを作り

町の多様化の実態を関係者に訴え、特別区にふさわしい行財政制度の確立をはかるものです。

△スローガンの例▽区民の豊かな生活とよい環境をめざす自治と財源を

△名称▽主催・日時・場所・スローガンは必ず入れて下さい。

〔原画の大きさ・色等〕  
A2版(42×59・4cm)縦長3色(白は含まれません)ただし、下部に掲責任者欄として5×19cmの余白をとって下さい。

〔募集期限〕  
昭和56年6月30日まで(郵送は当日消印有効)

〔賞状と副賞〕  
賞状と次の副賞を贈ります。  
▽最優秀作品 5万円(1点)  
▽優秀作品 1万円(5点以内)

地下鉄12号線  
早期建設せよ!!

東陽町 住吉町 錦糸町 押上 有楽町

中央区 江東区 墨田区 葛飾区 足立区

地下鉄建設促進五区協議会  
※開会中は各区議会議事室へ

町会などにお願いで町にはっていただきませう。

営団地下鉄八号線(有楽町線)は、現在、池袋から中央区の新富町まで営業していますが、新富町から豊洲を経て湾岸までの路線についても昨年九月に運輸省から免許がおりています。この路線が豊洲駅から分かれ

ばれ、また、正副委員長の一部に変更がありました。各正副委員長は次のようになりました。

◎委員長 ○副委員長  
防災対策特別委員会  
◎中山 満 ○南田 隆明  
交通対策特別委員会  
◎樋口 丈吉 ○村瀬 政幸  
都市開発特別委員会  
◎島村 福蔵 ○森下三七人  
公害緑化対策特別委員会  
◎渡辺 良 ○柴田 来治  
庁舎建設特別委員会  
◎吉田武三郎 ○武ノ内啓次郎

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

つぎの区議会は  
六月に開きます

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

墨田区議会は、第二回定例会を六月に開く予定にしています。みなさんが選んだ四十人の議員の区議会での活動状況を知っていただくために、本会議、各委員会とも公開しています。ただし、委員会室の傍聴は十人と決められています。詳しい日程については、六月上旬までには決まる予定です。お問い合わせは、区議会議事事務局(係) ☎65-1315 内線246

# 隅田川のぼろり

## 寺島の渡し

春の風物詩としてボートファンに親しまれている早慶レガッタは、今年も四月二十六日、両国橋から白鬚橋手前までの隅田川で行われます。

今年も五十回目を記念して、イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学の両クルームも参加し、大会を盛り上げることになっていきます。

「オール持つ手に花が散る」と歌にも歌われたように、墨堤の桜が散り始めるころ行われるボートレースは、隅田川の火花とともに下町の名物です。

隅田川で初めてボートレースが行われたのは明治十七・八年ごろで、東京大学や当時の海軍

がレースを行ったのが始まりで明治三十八年には第一回目の早慶レガッタが行われ、以来伝統のこのレース、戦争で一時中断しましたが、たぐさんの学生たちがこの川で汗と涙を流しました。

隅田川の水が汚れたために昭和三十七年から、荒川、相模湖、三十七年、荒川、相模湖、戸田と各地を転々としてきた早慶クルームは、川の水がきれいになって魚の泳ぐ姿が見られるようになった昭和五十三年「発祥の地」隅田川に戻ってきました。

「お父さん、早慶レガッタでボートが沈んでしまったときの話を教えてよ」

「うん、あれは、昭和三十三年の早慶レガッタのときだ。その日は雨が降っていて波も高かった。優勢と言われていた慶応は、スタートするや、力強いブレードワークでたちまち一艇身、二艇身とリード、浜町のカーブでは四艇身の差をつけて勝負は決まったと思った。ところが蔵前橋あたりから両校のピッチが落ちはじめたんだ。そのうちに早稲田の選手はおわんで、慶応の選手は着ていたランニングシャツをぬいでボートにたまった水をかい出しはじめた。かわいそうに既橋あたりで慶応ボートは沈没し、早稲田もやつのことごとくゴールできた。長い伝統のあるレースだけにいろいろな



浅草側からみた墨堤の桜、三田神社やボート、渡し船もえがかれてます

# あまがま

青葉、若葉の新緑が、美しく映えてくる季節となりました。

しかし、今年の気候も去年と同様に、あの江戸時代の天明の大きき頃の頃と似ているのではないかと言われています。夏らしい夏はやってきます。今年度は、基本構想元年です。今年度も二十一世紀をめざしてがんばります。

区議会議事事務局 調査係 ☎65-1315 内線246